

はっする



福井県嶺南振興局若狭健康福祉センター

☆☆ 感染症トピックス ☆☆

腸管出血性大腸菌（O-157）の予防に努めましょう。

腸管出血性大腸菌感染症は、例年、高温多湿で菌の活動が活発になる夏季に多数発生する傾向にあります。

昨年、福井県では、43 件の腸管出血性大腸菌感染症の届出がありました。

☆☆ 豆知識 ☆☆

腸管出血性大腸菌

潜伏期間：4～8 日。症状：下痢、腹痛、嘔吐等
感染ルート：加熱不十分な肉や生の芽野菜等

予防のポイント

5 月 25 日「はっする 13 号」でお伝えしました通り、

☆ 菌をつけない。

→手と調理器具はいつも清潔を保つ。

☆ 菌を増やさない。

→食品はすぐに冷却、すばやく解凍。

☆ 菌を殺す。

→しっかり中まで加熱。

鳥インフルエンザについて

今年 6 月、茨城県において鳥インフルエンザの発生が報告されました。

《人への感染について》

鳥インフルエンザは、この病気にかかった鶏と接触して、羽やフンを吸い込んだりして、体内に大量のウイルスが入ってしまった場合に、ごくまれにかかることがあります。

鳥インフルエンザに感染したり感染が疑われる鳥と接触した後で、発熱などインフルエンザを疑う症状が出た場合には、医師にその旨を告げて受診して下さい。

《鶏卵、卵の安全性について》

鳥インフルエンザについては、鶏肉や鶏卵を食べることによって、人に感染したという報告はこれまでありません。

なお、鶏肉は、食中毒予防の観点から、十分加熱して食べて下さい。

出典：『国民の皆様へ（鳥インフルエンザについて）』平成 16 年 3 月 9 日

（食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省、環境省）

福井県感染症発生動向調査速報 (6 月下旬)

○ 届出の報告はなし。

○ 編集後記 ○

お知らせです。次回「はっする」から定例号は月 1 回にさせていただきたいと思えます。また、緊急でお伝えしたいことがある場合には定例号の他に号外で出させていただきますので、今後も「はっする」をよろしくお願ひします m (一一) m

原因が分からないまま野鳥が死んでいるときなどには、家畜保健衛生所、若狭健康福祉センターや市町村等にご連絡下さい。

発信者 若狭健康福祉センター

健康増進課 担当 清水 久美子

TEL : 0770-52-1300

FAX : 0770-52-1058

MAIL : k-shimizu-47@pref.fukui.lg.jp

○ ご意見・ご感想お待ちしております！